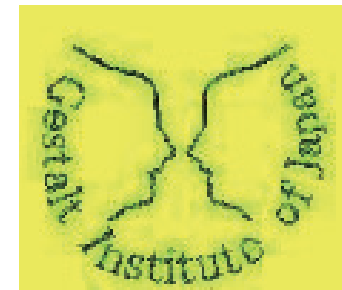


ゲシュタルト療法 ワークショップ ご案内

2017年7月28日(金) 14:00から

7月30日(日) 12:00まで



日本臨床ゲシュタルト療法学会

ホームページ

<http://clinicalgestalt.gr.jp>

1978年より個人セラピー、訓練、研修などを開催しており、高野山でのワークショップは今年で39年目となります。

費用

参加費:48,000円(含むセッション費・2泊3日の宿泊・食事代、ただし最終日の昼食代は含まず)

申し込み先住所

下記へ「申し込み書」をお送り下さい。

〒607-8175

京都市山科区大宅山田町34

京都橘大学 健康科学部心理学科

中西研究室 気付

日本臨床ゲシュタルト療法学会事務局

問い合わせ先

メール：nakanishi-r@tachibana-u.ac.jp

あるいは郵便にてお願いいたします。

締め切り 7月7日(消印有効)

会場

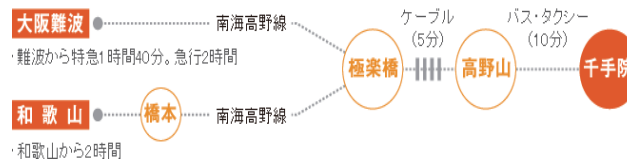
〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山605

「普賢院(フゲンイン)」

0736-56-2131 FAX:0736-56-4688

ホームページ <http://www.fugen-in.com>

南海電鉄「なんば」駅より「高野山」駅まで特急で約1時間40分(途中ケーブル)。そこからバスで「先手院」まで約20分。



南海電鉄・大阪難波駅から極楽橋まで特急で1時間40分(1日4往復)急行約2時間(30分毎)運行しています。極楽橋から高野山駅へケーブルカー(5分)が接続し、山内へはバス、またはタクシーをご利用ください。

申し込み書

2017年7月28日~7月30日

氏名			
性別・年齢	男・女	年齢	歳
連絡先 住所	〒		
メールアドレス			
電話			
所属 (もしあれば)			
臨床心理士番号 (もしあれば)			
紹介者 (もしあれば)			印
参加動機			
いままでに参加したワークショップや個人セラピーの経験 (もしあれば)			
連絡事項 (含む希望)			

ワークショップのお勧め

輻輳する現代組織の中で多忙・不条理・不信・ストレスなどのために自己疎外感に見舞われがちな昨今、人間らしさを取り戻したいと思いませんか。そんな思いを分かち合えればと、このワークショップが企画されています。ゲシュタルト療法は私たちに「生き生き」しているか、また「否」と言いたいときに「否」と言えるか、自分の考え、価値観をしっかりと持っているか、自分を大切にできるかなど、人間としての基本的な「生きざま（実存）」を問うています。ゲシュタルト派の心理療法を経験なさりたい方をはじめ、自己への気づきを深めたい方のご参加をお待ちいたします。都会を離れて涼しい悠久の霊峰、世界遺産でもある高野山で、静かにこころをやすめたり、心残りを精算するワークをなさいませんか。そして自分を見つめ、過去の自分と決別し、新しい自己の構築を試みてみませんか。また精進料理に舌ずつみを打つのも、心身をリフレッシュさせる機会かと存じます。なお研究所には他に(50セッション訓練・スーパーヴィジョン)などの機会も設けられています。

ゲシュタルト療法とは

精神分析家で、かつ医師のパールスにより提唱された現代の心理療法です。非分析的で「生きざま」や価値観を確立する療法なので現代の問題に有効と言われています。危機介入、認知的関わり、心療内科的方法などに取り入れられており、その考え方、技法が単純明快なことでも知られています。

文献:「ゲシュタルト療法入門」金剛出版「エンプティ・チェアの心理臨床」(現代のエスプリ 467号)至文堂、ともに倉戸ヨシヤ編、「ゲシュタルト療法」駿河台出版他多数

ワークショップで何をするのか

ゲシュタルト派の心理療法の理論と実際の両面を小人数のグループで学習します。内容的には、気づき、選択、責任性などが含まれていますが、それらはホット・シート、イメージ、夢などの技法を通して体験的に学習されます。また、ナイト・セッションも設定されています。



スケジュール

2017年7月28日(金)
2:00 受付
2:30 オリエンテーション
3:00 セッション(1)
5:15 休憩
6:00 夕食
7:00 ナイト・セッション(2)～9:00
7月29日(土)
9:00 全体会
10:15 セッション(3)
11:30 休憩・昼食
1:00 セッション(4)
3:00 セッション(5)
6:00 夕食
7:00 ナイト・セッション(6)～9:00
7月30日(日)
9:00 セッション(7)
11:30 閉会の集い(全体会)～12:00

オリエンテーションとは

ワークショップとはなにか、スタッフの紹介、グループ分け、宿舎・設備、スケジュールなど、ワークショップの案内がなされます。

全体会とは

参加者全員でワークショップでの生活上必要なことを話し合う会、朝の場合は「からだほぐし」、体験学習、講義などが(トレイニーが担当する予定)、また最後の「閉会の集い」では「体験の分かち合い」がなされます。

セッションとは

グループ・セラピーのことで、ゲシュタルト療法体験を指します。ワークショップの中心的プログラムで、参加者一人ひとりの「心残り」や「悲嘆」の経験、あるいは課題に取り組む時間です。体験学習や理論の学習が含まれる場合もあります。

ナイト・セッションは倉戸ヨシヤとともに語り、経験をシェアする時間です。

スタッフ(セラピスト)

倉戸由紀子(追手門学院大学名誉教授) 中西龍一(京都橘大学教授) 倉戸ヨシヤ(大阪市立大学名誉教授・ナイト・セッション担当)他を予定。「からだ」や心理臨床の経験を積んでいて、「臨床心理士」です。

対象

心理臨床やカウンセリング、喪の作業、危機介入、看護に携わる方、子どもの躰や教育に関心のある方、「心残り」と対峙し洞察を得たい方、スーパーヴィジョンを受けたい方、専門家として力をつけたい方などのご参加をお待ちしています。

申込み方法

どなたでもお申し込みいただけますが、下記の「参加資格」をご了承の上、「申し込み書」を日本臨床ゲシュタルト療法学会事務局(京都橘大学中西研究室)までお送り下さい。

ホームページやメールからもお申込できます。ご参加いただける場合は、折り返し、参加のしおり、地図などとともにご返事致します。

参加資格

このゲシュタルト療法ワークショップに関心があり、ワークショップ期間中の生活にご自身で選択、責任をお取りになれる方。例えば、ワーク(セラピー)に参加するかどうか、合宿での複数の参加者と生活を共にできるか、などご自身で判断のできる方なら、どなたでも参加して頂けます。ただし18歳以上の心身ともに健康な方。